

製品名: SLK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17975**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	150kDa

抗原情報

遺伝子名	SLK SLK; KIAA0204; STK2; STE20-like serine/threonine-protein kinase; STE20-like kinase; hSLK;
別名	CTCL tumor antigen se20-9; STE20-related serine/threonine-protein kinase; STE20-related kinase; Serine/threonine-protein kinase 2
遺伝子 ID	9748.0
SwissProt ID	Q9H2G2
免疫原	抗血清はヒト SLK 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1151-1200

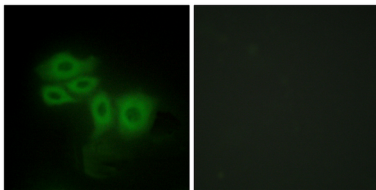
背景

触媒活性:ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能:アポトーシスおよびアクチンストレスファイバーの溶解を媒介します。PTM:自己リン酸化。DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。PTM:カスパーゼ 3 によってタンパク質分解的に切断されます。配列注意:汚染配列。位置 422 から始まる潜在的なポリ A 配列。配列注意:汚染配列。位置 611 から始まる潜在的なポリ A 配列。配列注意:汚染配列。位置 614 から始まる潜在的なポリ A 配列。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。STE20 サブファミリー。類似性:1 つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。類似性:1 つの UVR ドメインを含みます。組織特異性:普遍的に発現します。最も高い発現は心臓と骨格筋で確認されています。触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: アポトーシスとアクチンストレスファイバーの溶解を媒介します。PTM: 自己リン酸化。DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。PTM: カスパーゼ 3 によってタンパク質分解的に切断されます。配列注意: コンタミネーション配列。位置 422 から始まる潜在的なポリ A 配列。配列注意: コンタミネーション配列。位置 611 から始まる潜在的なポリ A 配列。配列注意: コンタミネーション配列。位置 614 から始まる潜在的なポリ A 配列。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。STE20 サブファミリー。類似性:1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。類似性:1 つの UVR ドメインを含む。組織特異性:普遍的に発現。最も高い発現は心臓と骨格筋で認められる。、

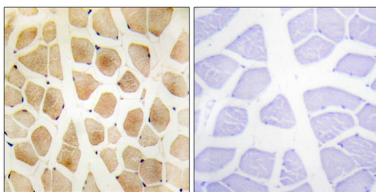
研究分野

卵母細胞減数分裂;

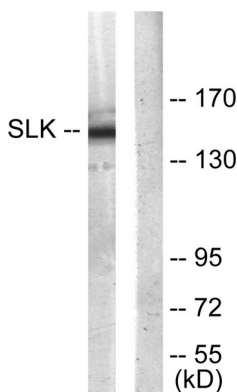
画像データ



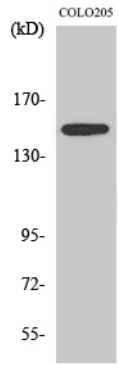
SLK 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



SLK 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト骨格筋組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



SLK 抗体を用いた COLO205 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーン合成ペプチドでブロックされている。



1: 1000 に希釈した SLK ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析